

◎基本情報

事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 ドイツ館・「第九」ブランド化推進室	
総合計画体系			根拠法令 計画など	ユネスコ世界の記憶プログラム	
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="28"/> 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終了
(小項目)		シティプロモーション			
施策	2	シティプロモーションの推進			
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ドイツ館が所蔵する「板東俘虜収容所」関係資料のうち、当時の状況を文字や映像として記録した「記録資料」。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「板東俘虜収容所記録資料」をユネスコ「世界の記憶」に登録する。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他資料の台帳整理。 ②県教育委員会と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催。 ③「板東俘虜収容所」関係資料保存管理計画」策定作業。 ④申請対象資料を保存していくための公開の手段としてレプリカの作成とデジタル化作業。 ⑤周知啓発のための企画展示とイベントの実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドイツ館周辺への来訪者数</td> <td>70,250</td> <td>75,250</td> <td>85,250</td> <td>87,000</td> <td>90,000</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	ドイツ館周辺への来訪者数	70,250	75,250	85,250	87,000	90,000	人
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
ドイツ館周辺への来訪者数	70,250	75,250	85,250	87,000	90,000	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①申請対象資料の台帳作成およびその他資料の整理・台帳作成を行った。 ②県教育委員会と共同で「板東俘虜収容所関係資料」ユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催した。 ③「板東俘虜収容所」関係資料保存管理調査検討会を開催し、「保存管理計画」策定作業を始めた。 ④作成したレプリカの活用と、デジタル化した資料画像をWEBで公開した。 ⑤ユネスコ「世界の記憶」に関する企画展示や講演会の開催を通して周知啓発に取り組んだ。また、ドイツ・リュネンブルク博物館で開催される企画展に協力した。 ⑥板東俘虜収容所開所100周年イベントの開催。																																			
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度目標</th> <th>31年度目標</th> <th>32年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>2 周知啓発回数</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標</td> <td>ドイツ館周辺への来訪者数</td> <td>76,050</td> <td>82,829</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>110.1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	1 調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数	3	4	4	2	2	回	2 周知啓発回数	5	9	10	10	10	回	成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ドイツ館周辺への来訪者数	76,050	82,829	—	—	人	目標達成率(実績/目標)		110.1	—	—	—	%
指標名	28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位																															
1 調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数	3	4	4	2	2	回																															
2 周知啓発回数	5	9	10	10	10	回																															
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ドイツ館周辺への来訪者数	76,050	82,829	—	—	人																															
目標達成率(実績/目標)		110.1	—	—	—	%																															
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり																																		

(千円)

財源内訳	平成29年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		4,081	0	0	0	4,501	8,582
		補正予算額		0	0	0	0	1,272	1,272
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		4,081	0	0	0	5,773	9,854
		決算額		3,838	0	0	0	5,498	9,336
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.5	1.0	13,343	22,679				

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	12,443	9,336	11,365	10,000	20,000
	うち一般財源	1,793	5,498	6,615	10,000	20,000
	人件費	7,133	13,343	13,343	13,343	13,343
	総事業費	19,576	22,679	24,708	23,343	33,343

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		申請対象資料の整理が進んだことで活用の幅が広がり、周知啓発において有効に活用することができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		台帳整理と併行し資料目録を作成したことで、資料の管理・活用が円滑に実施することが可能となった。
②成果に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		ドイツ館や道の駅などの集客がいずれも増加し、目標値を上回る実績となった。
	目標	75,250	人	
	実績	82,829	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		項目①②のとおり

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①対象となる「記録資料」の安全な保存活用に向けて検討を行う必要がある。 ②①を考慮しながら資料活用に重点を置いた事業の企画の推進。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	①「保存管理計画」策定作業。②頒布用図録作成。③企画展・講演会を通じた事業の周知広報活動。④県外における企画展の開催。⑤申請対象外資料の台帳整理。			
	H31年度	①「保存管理計画」に基づく環境等整備。②企画展・講演会を通じた事業の周知広報活動。③申請対象外資料の台帳整理。			